

「法と民主主義」2014年8・9月号

特集●「原発と人権」

人間・コミュニティの回復と原発のない社会をめざして

—第2回 全国研究・交流集会 in 福島 (2014.4.5～4.6) より

第2回「『原発と人権』全国研究・交流集会 in 福島」(本年4月5・6日。於福島大学)の報告書が出来ました！一昨年の第一回と同様、「法と民主主義」誌の8／9月合併号の「特集」としてまとめられました。

全1日目の全体会での、ノンフィクション作家柳田邦男氏の講演は、福島原発事故政府事故調査委員長代理を勤められた経験を踏まえて、原発事故が未だ収束していない深刻な広域被害の実態を詳細に明らかにしています。そのほか、ミシェル・プリウールさん(仏。リモージュ大学名誉教授)と丹波史紀福島大学准教授の講演、桜井相馬市長をはじめ被害者市民達の報告、さらには、2日目の5つの分科会についても簡潔な報告を掲載して、きわめて充実したものになっています。

更に、9月1日に行われた、シンポジウム「大飯原発差し止め訴訟判決の意義と脱原発運動のこれから」(海渡雄一、館野淳、北村浩3氏の報告)も「特別掲載」として収録しています。是非お買い求めください。

お問い合わせ、お申し込みは、日本民主法律家協会(TEL:03-5367-5430。FAX:03-5367-5431。Email:info@jdla.jp)まで。